

厚沢部町義務教育学校整備検討委員会第3回会議録

日 時： 令和7年9月17日（水）18時30分～20時30分

場 所： 厚沢部町山村開発センター集会室

出席者： 検討委員会委員

近藤良信（社会教育委員長・民生児童委員）
太田滋子（社会教育委員副委員長・人権擁護委員）
高田一弥（厚沢部商工会長）
尾山浩崇（厚沢部小学校運営協議会会長）
山田克哉（館小学校運営協議会会長）
玉置英樹（町校長会長、町教研会長）
大滝英樹（館小学校長）
荒谷真一（厚沢部小学校教頭）
平本大城（こども園保護者代表）
西山訓央（厚沢部小学校保護者代表）
八重樫明美（厚沢部小学校保護者代表）
橋端純恵（保健福祉課主幹）
宮脇いずみ（地域魅力化コーディネーター）

オブザーバー

安田 光（総務財政課長）
安達達也（保健福祉課長）

支援業務委託先

平井聡一郎（未来教育デザイン）

事務局職員

高野政人（教育長）
二宮和之（事務局長）
太田聡子（事務局主幹（学校教育））
加藤一義（指導主事）
山田蒼良（学校教育係）
中野健二（建設水道課建築アドバイザー）

欠席者： 香川直樹（厚沢部中学校運営協議会会長）
西口智章（こども園・館小学校保護者代表）
中川一秀（政策推進課主幹）
宮本修太（保健福祉課こども園児童指導員）

1 開会・教育長挨拶

教育長より、日頃の教育活動への協力に対する感謝と、今回の会議の目的（各校の取組報告、義務教育学校整備の進捗共有、今後の教育講演）について説明があった。

2 議題

（1）各学校の取組について

ア 厚沢部小学校

児童 95 名。異学年交流や地域連携を重視。学校評価では「安心して通える」が高評価、課題は生活習慣。

イ 館小学校

ウェルビーイングを教育目標に据え、短期留学生の受入れや地域協働活動。課題は自己肯定感の不足や家庭学習。

ウ 厚沢部中学校

修学旅行・地域連携活動。不登校生徒への支援を実施。学校評価では信頼関係は高評価、課題は家庭学習とキャリア意識。

（2）義務教育学校の整備について

国・町の方針、児童数減少、施設老朽化、財政負担を踏まえ、整備候補地 4 案を比較検討。

評価では「厚沢部中学校敷地」と「総合体育館・図書館敷地」が優位。今後、基本構想・基本計画を策定し住民説明会へ。

（質疑応答）

質問 1

「小中の先生方がどういう教育をしていくのか、義務教育学校の具体像を議論する場はあるか。」

答弁

「既に教育研究会内に部会があり協議を開始している。今後、有識者も交えさらに強化する予定。」

質問 2

「オランダでは体育館やグラウンドを必ずしも整備していないが、日本での考え方はどうか。」

答弁

「オランダは地域クラブに委ねる仕組み。日本は、体育授業や防災機能から一定規模のグラウンドは必要。ただし全面運動場でなく授業に必要な面積を想定。」

3 講演「これからの教育について」

講師の平井聡一郎氏より、全国の教育改革事例や海外視察を踏まえ、探究的学びと学校の空間デザインの重要性について講演。

4 その他

今回は 10 月 8 日（火）18 時～、図書館視聴覚室にて開催予定。

5 閉会

事務局より閉会の挨拶があり、散会。